

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	取付商品のサイズ	本体の取付方法			注意事項	オプション ※商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格(税込)です。
				取付キット類				
				型番	主な付属品	希望小売価格(税込)		
H28/6~R3/3	LA700V系 LA710V系	全車種	8型	KLS-D802D <sup>Ⓚ</sup>	■—■ P 注4	22,000円		純正バックカメラ接続アダプター(注14) ●KK-D301BA <sup>Ⓚ</sup> 7,700円  純正バックカメラコネクタ変換ケーブル(注14) ●RD-D202BC 5,500円 ●RD-D201BC 4,950円 ●RD-D101BC 4,950円
		オーディオレス車 ・インテグレートCD・AM/FMラジオ付車	W2D	KJ-D201DK <sup>Ⓣ</sup>	■—■ 注5	6,600円	注6,7,15	
		M.OPのナビ付車 注1,2	2D	KJ-D81D <sup>Ⓣ</sup>	■—■ P 注8	4,950円	注7,9	
		D.OPのナビ/ オーディオ付車 注3	W2D	RD-Y101DK	■—■ HFC 注10	5,500円	注7,11,12 13,16	
			2D	KJ-D81D <sup>Ⓣ</sup>	■—■ P 注8	4,950円	注7,9	

※フローティングモデルの適合情報については、弊社ホームページの「フローティングモデル適合情報」等でご確認ください。

- (注1) オーディオレス車(ワイド2D窓口で純正ブラケットなし)、インテグレートCD・AM/FMラジオ付車、H28/6~H29/11車にメーカーオプション設定のスマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム付車の場合、取付けにはブラケットを同梱している取付キットを使用します。
- (注2) H28/6~H29/11車にメーカーオプション設定のスマートフォン連携メモリーナビゲーションシステム付車の場合、取付けに使用している純正ブラケットを使用すると、ステレオ本体の肩部がクラスター窓口裏側のリブに当たってリブの切取加工が必要となるため、純正ブラケットの使用は推奨しません(なお、インテグレートCD・AM/FMラジオ付車の純正ブラケットは未確認です)。
- (注3) H29/11に追加設定されたディーラーオプションの8インチスタンダードメモリーナビ付車は除きます(8インチスタンダードメモリーナビ付車は、窓口が異形でスイッチが一体の専用パネルを使用しているため取付不可)。
- (注4) KLS-D802D<sup>Ⓚ</sup>は8V型カーナビゲーションを取付けるための車種専用の取付キットです。専用パネル(シルバー)、専用ブラケットの他、ダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、ネジ類等が同梱されています。
- (注5) KJ-D201DK<sup>Ⓣ</sup>にはブラケット、ダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、ネジ類等が同梱されています。
- (注6) 電源ケーブルを同梱しているモデル(AVIC-CW912Ⅲ/RW721等)の場合、KJ-D81D<sup>Ⓣ</sup>の使用も可能です。
- (注7) ステレオ本体が下寄りに付く場合は、窓口の中心となるようになるべく上寄りに取付けてください。
- (注8) KJ-D81D<sup>Ⓣ</sup>にはブラケット、パネル(L、R)、配線コネクタ(10P/6P)、車速信号他を取出すためのコネクタ(5P)、ネジ類等が同梱されています。
- (注9) FH-4600/3100等を取付ける場合、商品に同梱のワイド2D窓口車用パネルを使用して取付けることも可能です。その場合は取付キットに同梱のパネル(L、R)は使用しません。
- (注10) RD-Y101DKにはダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、アンテナ変換コネクタ(HFC)、ステアリングリモコンケーブル(20P)が同梱されています。
- (注11) 取付キットに同梱のアンテナ変換コネクタ(HFC)、ステアリングリモコンケーブル(20P)は使用しません。また、取付キットRD-Y102DK(希望小売価格5,500円、税込)に同梱のダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)も同様に使用が可能です。
- (注12) 電源ケーブルを同梱しているモデル(AVIC-CW912Ⅲ/RW721等)の場合、取付キットKK-Y45DⅡ<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格3,300円、税込)が使用可能です。なお、取付キットに同梱のパネル(L、R)は使用しません。
- (注13) 純正ブラケットのステレオ取付用の穴は長穴になっており、ステレオ本体が最も奥寄りの位置となるように取付けます(ステレオ本体を手前寄りに取付けると、クラスター窓口裏側のリブに当たります)。
- (注14) メーカーオプションの純正ナビ装着用アップグレードバック付車、およびナビバック付車(H28/6~H29/11車に設定)の場合、純正バックカメラ配線にはそのままでは接続できません。KK-D301BA<sup>Ⓚ</sup>ではRCA端子で、RD-D202BCでは8Pコネクタ(AVIC-CL912Ⅲ/RL912等に接続できる端子形状および配線仕様)で、RD-D201BCでは8Pコネクタ(AVIC-CL912Ⅲ/RL912等に接続できる端子形状および配線仕様)で、RD-D101BCでは5Pコネクタ(2016~2018年モデルのサイバーナビ等に接続できる端子形状)で、純正バックカメラの映像を出力することが可能となります。
- (注15) ダイレクト接続コネクタ類を同梱しているモデル(AVIC-ZH0999WS/ZH0999W/ZH0777W/ZH0099WH/ZH0099WS/ZH0099W/ZH0077W/RW09/RW03/MRZ099W)の場合、取付キットは同梱のブラケットのみの使用となりますので、KJ-D201DK<sup>Ⓣ</sup>の代わりに、KJ-D81D<sup>Ⓣ</sup>の使用を推奨します。
- (注16) ダイレクト接続コネクタ類を同梱しているモデル(AVIC-ZH0999WS/ZH0999W/ZH0777W/ZH0099WH/ZH0099WS/ZH0099W/ZH0077W/RW09/RW03/MRZ099W)の場合、RD-Y101DKは不要です。

〔取付キット類の主な付属品の記号〕

■—■	ダイレクト接続コネクタ	HFC	アンテナ変換コネクタ(HFC)
■—E	配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー)	GT	アンテナ変換コネクタ(GT)
■—C	配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー)	CE	アンテナ変換コネクタ(CE)
P	専用パネル、または窓口左右の隙間を埋めるパネル	Ⓢ	ステアリングリモコンケーブル、またはステアリングリモコン用ミニプラグ

〔オプションの記号〕

Ⓢ	オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。
---	---

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	PR								カスタムフィット						注記 B	ボックス タイプ						ユニットタイプ						サテライト								
			TS- Z900PRS	TS- V173S	TS- C1730SII C1740SII F1740SII	TS- C1630SII C1640SII F1640SII	TS- F1040SII											TS- X210 X170	TS- A6971F	TS- A1671F	TS- A1371F	TS- G1010F	TS- E1010				TS- STH1100	TS- STX510 STX510-B	TS- STX710AS									
5ドア	Fドア		×	×	×	◎①	×																															
	インナー バッフル	②③	×	×	×	回																														○ リアビ ラー部 トリム	○ リアビ ラー部 トリム	○ リアビ ラー部 トリム
	荷室側面	④	×	×	×	×	×																															

注記  
① 取付ネジ穴位置が端寄りになるため、平座金を使用して取付けます。  
② インナーバッフルUD-K629（希望小売価格12,100円、税込、2個1組）の使用が可。  
③ バッフルを鉄板穴内に挿入する際、ドアガラスが下がった状態ではガラスに当たって挿入しにくいので、ガラスを上げた状態でを行います。  
④ 荷室側面のサイドトリムにはスピーカーグリルもあり、スピーカーを鉄板に固定することは可能です。但し、車両側にリアスピーカー用配線がないため推奨はしません。

〔PRS/カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	⊠	取付可（別売の「カースピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「カースピーカー取付キット」使用）	⊡	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
回	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	×	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
●	取付可（鉄板加工が必要）	◆	取付可（スピーカーに付属のスペーサーを使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
△	取付可（別売のUD-K125使用）	×	取付不可
▲	取付可（別売のUD-K125使用で、鉄板加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。